

西部地区研究主任等情報交換会では、様々な教科に応用できるように演習を通して、まとめ・振り返りの具体例や、まとめにつながるキーワードを引き出す発問について協議しました。演習後に例示したワークシートをもとに紹介しますので、次年度の研究や授業づくりにお役立てください。

【めあて—まとめ・振り返りのある授業づくりの提案】

まとめにつながるキーワードを引き出す教師の発問・指示について考える！

めあて	子供の発言及び教師の発問・指示	まとめ	振り返り
<p>小学校3年算数科「小数」</p>	<p>&lt;問題&gt; ジュース0.6Lと0.7Lをあわせると何Lですか。</p>	<p><b>ポイント①</b></p>	<p><b>ポイント②</b></p>
<p>&lt;めあて&gt; 小数のたし算やひき算の仕方を考え、説明しよう。</p>	<p>&lt;めあてを引き出すための発問&gt; ・これまでどんな数のたし算やひき算を学習しましたか。 ・小数も整数や分数のようにたしたり、ひいたりできるでしょうか？</p> <p>整数や分母が同じ分数の計算を学習しました。 小数もたしたり、ひいたりできると思います。</p> <p>&lt;めあての設定&gt;</p> <p>&lt;見通しをもてるような発問&gt; ・何を使って考えれば計算の仕方を説明できそうですか？</p> <p>数直線や1Lマスを使って考えればいいと思います。 小数を分数に直すと計算できそうです。</p> <p>&lt;キーワードを引き出す発問&gt; ・同じ考え方をしているところはありませんか？</p> <p>深い学びの視点 &lt;小数の加法・減法を分数と統合的に考える&gt;</p> <p>0.6は0.1が6こで、0.7は0.1が7こ考えています。 どれももとになる小数や分数のいくつ分で考え6+7の計算をしています。</p>	<p>学習指導要領解説や評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料をもとにまとめを設定します。</p> <p>&lt;まとめ&gt; 小数のたし算やひき算は、もとになる数(0.1)のいくつ分で考えると整数と同じように計算できる。</p>	<p>この時間で目標を達成した子供の姿を想定して、具体的なゴールイメージを持つことが大切です。</p> <p>&lt;振り返り&gt; 小数のたし算やひき算は、もとになる数(0.1)のいくつ分で考えると整数と同じように計算できると分かりました。</p>
<p><b>ポイント③</b> まとめめあてが正対することが大切です。</p>	<p>子供からさらに次のような振り返りを引き出すために...</p>	<p><b>ポイント④</b></p>	<p>関連付けて この考え方は、もとになる分数のいくつ分で考える分数の計算の仕方と同じでした。</p>
	<p>&lt;まとめを引き出す発問&gt; ・数字が変わってもみんなの考えた計算の仕方できますか。 ・ひき算にもみんなの考えた計算の仕方は使えますか。</p> <p>数字が変わっても、もとになる数のいくつ分で考えて計算すれば整数と同じように計算できます。 ひき算に変わっても同じように、もとになる数のいくつ分で考えると整数と同じように計算できます。</p>	<p>計算の仕方を考えるだけでは子供の思考は深まりません。計算の意味を考える必要があります。まとめにつながる<b>キーワード</b>を引き出す鍵になる発問が必要です。子供の発言を想定し、発問や指示をあらかじめ用意しておくことが大切です。</p> <p><b>レベルアップ!</b></p> <p>新しい学びをもとに既存の知識を捉え直すことができるような発問をすることで、子供たちの深い学びにつなげることができます。</p>	<p>教師の関わり もとにする数のいくつ分と考えた勉強はありませんでしたか？と問う もっと数が大きくなったら？と問う</p> <p>次につながる □. □+○. ○のように大きな数になった場合は、小数も筆算で計算できると思います。</p>